



2月18日 一斉防災訓練行います



今年も緊急事態の対応訓練として、水戸市の一斉防災と呼応して防災訓練を行います。いつものように、身の安全確保を行います。訓練が始まる瞬間、どこに身をおけば最も安全か考える訓練です。机の下、柱の陰、物が落ちてこない、重量物が倒れてこない、検討し、いざという時、けが等未然に防げるのが目的です。一斉防災ではプラスワン訓練が推奨されていて訓練当日、当社では緊急メールの配信、受信訓練も併せて行います。

こみっとフェスティバルについて

2月15日(土)～16日(日)イオンモール水戸内原のメインコート会場に「こみっとフェスティバル2025」が開催されます。このイベントは水戸市内のボランティア団体が協力して実施されるもので今年で13回目を迎えました。当社が支援している水戸市環境保全会議も参加し、環境に関する情報を発信します。高校生とコラボしてクイズを考え、来場者と一緒に楽しむ予定です。



チャレンジばらきの研修会に参加しました



2月1日(土)チャレンジばらきが開催した、地域貢献に関する研修会に参加しました。地域で特色ある活動をしている企業の発表があり、終了後意見交換の場が設けられ、いくつかの参加団体と情報交換しました。アイデアとして面白い話がたくさんありましたが、多くが構想の段階で実現できているものは少なく、それぞれの地域で問題点が違い、試行錯誤しているように思いました。

環境コラム「水戸市植物園」新水戸八景プラスワン



今回、水戸市植物公園を紹介します。植物公園は1983年小吹に清掃工場が建設されることが決定し焼却時に発生する熱を有効活用する方法として温室の設置が検討され、1987年観賞温室を含む80,000㎡の敷地を誇る植物公園として誕生しました。老朽化により移転が決定、2020年に改装工事のため休止しましたが、2023年リニューアルオープンしたばかりです。園内コンセプトは、代表的な和の香りがする偕楽園を念頭に、洋風の庭園を目指したそうです。入口のブリッジを渡るとそこからはテラスザガーデンが広がります。ガーデニングの参考になるように工夫を凝らし植えられた花壇が沢山あります。温室は、一年を通して楽しむことができ、熱帯特有のハーブなどが展示されています。更に外国からの来園者に人気がある湿生花園、アジアでは縁起が良い植物とされていてスイショウ(水松)など湿生植物が展示されています。おすすめのもう一つが薬草園です。水戸藩にはもともと薬草を栽培する土壤があり、偕楽園の梅もその一つと言っているでしょう。水戸光圀公時代、領民が医学の恩恵に与れないことを知った光圀公は、当時の藩医に命じ「救民妙薬」を編纂させ、薬として服用できるようにしました。これが、家庭医学書の先駆けとして大ロングセラーとなり、黄門様の足跡の一つとなりました。現在の医学では、少し怪しいところがありますが、何も頼るものがない時代救いとなったことは間違いありません。そうした薬草が植えられていますので、興味のある方は足を運んでください。冬は植物を鑑賞する機会が、少なくなります。お散歩しながら楽しんでみましょう。

最高責任者の評価「気象変動の緩和」

アメリカで山火事が頻発するなど、最近の異常気象は、国内でも問題になっている。今、気象変動緩和に対する具体的な活動要求が指示されている。気象に関する問題は、様々な要因が指摘され、活動項目として議論されたが目標として定められたことはない。時間をかけて、当社でどのような活動項目が気象変動緩和に、多少なりとも有効な活動が見極める時が来ている。過去の事例に立ち返り、活動項目にできる内容を見つけて行く。



2024年度環境目標進捗状況表

目標は今月も達成できました
緊急事態の対応訓練
よろしくお願いします！



	今月の目標	今月の実績	今月の評価	本年目標累計	本年実績累計	累計達成率	全体的評価
電気使用量 合計(kwh)	43,094	37,860	(達)	280,013	260,424	108%	(達)
エコキャップ(個数)	1,200	1,200	(達)	13,300	13,300	100%	(達)
美化活動(回数)	—	—	—	2	2	100%	(達)
環境教育(回数)	—	—	(達)	4	4	100%	(達)
防災計画(進行度%)	10	10	(達)	70	70	100%	(達)